

銀河レポート401

No.67
12月号

発行日：令和2年12月1日
編集＆発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700

そらんぼ四日市

検索

12月の星空

星図：ステラナビゲータ9/(株)アストロアーツ

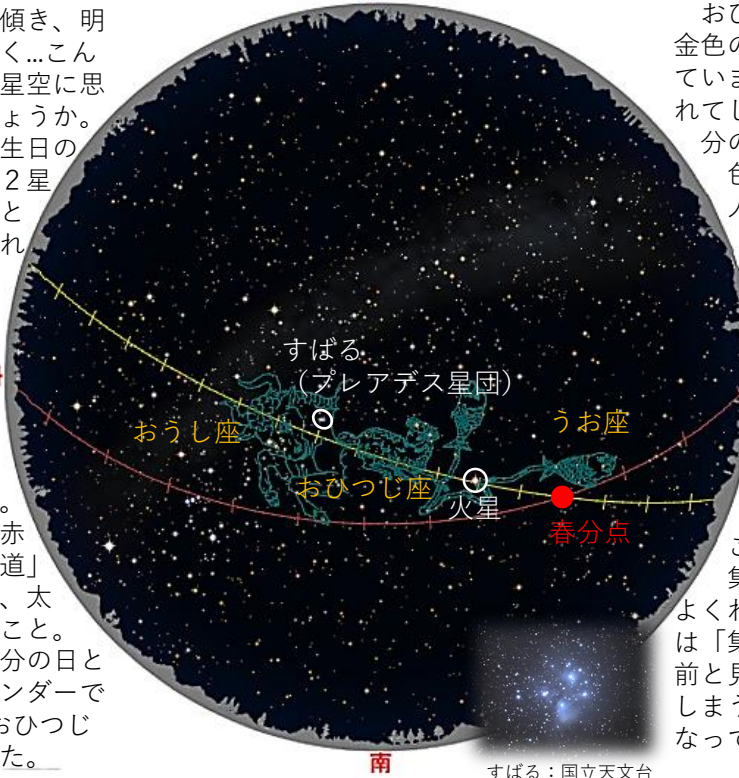
春分点ってなに？

淡い秋の星座は大きく西に傾き、明るい冬の星座もまだ東の空低く...こんな時期だからこそ、遠い昔の星空に思いをはせてみるのはどうでしょうか。

昔の星というと、現在お誕生日の星座として親しまれる黄道12星座が有名です。太陽の通り道となる黄道を12分割して、それぞれ当てはめられた星座たちを言います。

これらのトップバッターがおひつじ座。星占いの星座が確立された約2000年前には、おひつじ座が春分点の位置にいたため、12の星座の最初に位置付けられました。そもそも春分点とは、地球の赤道を天球に投影した「天の赤道」と、黄道が交差する点のうち、太陽が南側から北側に横切る点のこと。太陽が春分点にある日を、春分の日と言います。春分点は昔のカレンダーで1年の出発点にあたるため、おひつじ座は特に重要視されていました。

12月15日21時の星図



おひつじ座

おひつじ座は、ギリシャ神話では金色の毛皮を持つヒツジだと言われています。その毛皮が後に刈り取られてしまったためか、現在は角の部分の星しか見えていませんが、金色の羊というだけあって、昔の人々にとって大切な星座であったことがわかります。

※ただし、現在は、地球の地軸が動いたために、春分点は、うお座の位置に移動しています。

星はすばる

清少納言の枕草子に「星はすばる」という文があります。すばるは、おうし座の肩の部分にある、プレアデス星団のことです。120個ほどの星の集団で、双眼鏡でもその様子がよくわかります。すばるという言葉は「集まる」という意味で、その名前と見た目の調和に思わず納得してしまうような、歴史を感じる名前となっています。

すばる：国立天文台

12月のガリレオ教室

流星のひみつ

12月13日(日)には、ふたご座流星群が活発になります。流星群はその名の通り、短い時間の間にたくさんの流星が見られる現象のことです。そんな流星のひみつについて、一緒に考えてみましょう。

日時：12月13日(日)

①11:00~11:20

②14:00~14:20

場所：5階 コズミックラウンジ

料金：無料 定員：20名

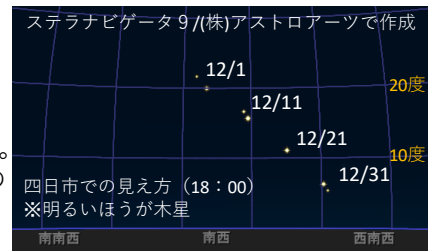
木星と土星のランデブー！！

12月21日から22日にかけて、木星と土星が見かけ上大接近します！

木星と土星は、20年に一度空で接近します。20年に一度という珍しいものがないような気がしますが、今回は特別です。木星と土星の接近時の見かけの距離はたいいてい月の大きさの二倍程度ですが、今回は満月の直径の約5分の1まで近づいて見える、まさに「大」接近となります。これは、1623年以来397年ぶりの出来事です。

18時頃毎日南西の空を眺めてみると、少しずつ近づいていく木星土星を楽しむことができます。惑星の動きを感じられる特別な経験になること間違いなしです。

次回は20年後の2040年ですが、今回のように大きく接近するのはさらに40年後の2080年。今回の接近をお見逃しなく！



★★観望会★★

《博物館主催きらら号観望会》

場所：博物館前市民公園

◇12月26日(土) 17:00~18:30 「月と火星を見よう」

《博物館主催流星群観望会》

場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所付近

◇12月13日(日) 19:00~21:00 「ふたご座流星群と冬の星空」

※天候不良時は中止です。

※当日受付・参加無料です。

※マスク着用、手指消毒、観望会受付票の記入をお願いいたします。

12月の月

8日  下弦

15日  新月

22日  上弦

30日  満月

編集後記

夜空で見られるのは星というイメージがありますが、今ぜひ見て欲しいのがISS(国際宇宙ステーション)です。ISSは人工衛星のひとつで、夜空の中を静かに動く小さな光の点に見えます。現在ISSには、日本人宇宙飛行士の野口さんが搭乗中です。ぜひ空に向かって手を振ってみましょう。